

令和  
7年度

# 事業所における自己評価総括表(公表)

COMPASS 諫早



○事業所名	COMPASS諫早			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日	～	令和7年9月27日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年9月5日	～	令和7年9月16日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月18日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	COMPASSでは全国に事業を展開しており、系列事業所との連携があります。 各担当者が会議や勉強会をおこなっており、事例検討なども含めて多様な視点からの意見を取り入れて、計画書や日々の療育に取り入れております。	各担当毎に事業部内で担当グループが形成されており、担当グループ主体での会議や勉強会が実施されています。 複数の地域に事業所があるので、不明な点などは指定権者に確認をし、法令に沿った事業所運営をおこなっております。	児童が安心して通所でき、成長を実感できる事業所を目指し、関係法令を遵守しながら、質の高い支援の提供に努めてまいります。
2	日頃から児童の状況を保護者様と伝えあい、児童の発達 の状況や課題について共通理解ができるように努めております。	連絡アプリや送迎時を活用し、その日の療育内容や児童の様子を丁寧にお伝えするとともに、ご家庭での様子についても伺い、情報共有に努めております。 また、保護者様からのご相談に対しては適切な助言をおこなうよう努めております。	今後も、保護者様との日頃からの会話を大切にし、気軽に相談していただける信頼関係の構築に努めてまいります。 また、職員間で話し合う機会を多く設け、より保護者様からの相談に的確なアドバイスができるよう努めてまいります。
3	活動プログラムが固定化しないよう工夫しております。	学習支援に加え、季節の制作活動や集団活動を取り入れ、療育内容が固定化しないよう工夫しております。 また、作業療法士や理学療法士による専門的な支援を通じて、巧緻性の向上や身体の使い方、日常生活における課題への対応に努めております。	今後も、職員間で連携を取りながら、活動内容が固定化しないよう、一人ひとりに合わせた支援に努めてまいります。 また、その内容が保護者様にも伝わるよう配慮してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会等を開催する等の保護者様同士で交流する機会を設けることは現在できておりません。	コロナ以降、感染拡大防止や保護者様の就業状況の観点から、保護者様同士での交流会の開催は控えている状況です。	今後は保護者様のご意向を把握したうえで、必要に応じて交流機会の実施について検討してまいります。
2	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営は現在できておりません。	コロナ以降、感染拡大防止や個人情報保護の観点から、地域交流は控えている状況です。	保護者様のご意向を踏まえ、児童の安全確保を最優先としながら、可能な範囲で地域に開かれた取組の実施を検討してまいります。
	ご家族様に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やご家族の参加できる研修の機会を設けることは現在できておりません。	児童への支援を中心として、各ご家庭への個別な対応に重点を置いてきたため、対応できる職員体制が整っておりません。	今後も保護者様からの個別相談には丁寧に対応するとともに、研修等への参加を通じて職員の専門性向上を図り、家族支援の充実にも努めてまいります。



公表日：令和8年4月10日